

令和 7 年度 第 4 回 藤沢市立八松小学校 学校運営協議会議事録

開催日時 2025 年 11 月 20 日（木）午前 10 時～11 時 45 分
場 所 八松小学校 相談室

出席委員等	植木 菊治（会長／辻堂地区民生委員） 瀧谷 典子（副会長／八松小学校校長） 山本 あや（本校在籍児童保護者） 大石 由佳（明治中学校校長） 吉田 秀樹（辻堂まちづくり会議 防災担当） 若林 理恵（藤沢市社会福祉協議会 コミュニティ・ソーシャルワーカー） 小野 登紀子（明治地区民生委員児童委員） 猿渡 智香子（辻堂二葉幼稚園園長） 榊居 亮子（八松子どもクラブ クラブ長） 小林 美幸（明治地区民生委員児童委員協議会主任児童委員） 小田 龍太郎（明治市民センター職員） 片山 雄貴（辻堂市民センター職員） 猪野 恭子（明治地区青少年育成協力会 副会長） 秋山 るみ（八松小学校教頭） ----- 出席委員：14 名
次第	1 開 会 2 本日の議題 （1） リソースルームの運営についての報告 （2） 委員の学校評価項目の最終確認 （3） いじめ防止に関する意見交換 3 その他 ・ 次回日程について ・ 連絡事項（学校評価アンケートについて） 4 閉 会
協議内容	4. 議題 （1） リソースルームの運営についての報告 ・ 副会長 常時利用がある。2 学期より、コーディネーターや他の委員のご協力をいただき、開室時間が延長できるようになってきた。 委員やコーディネーター、市民センターのご協力でリソースルームボランティア募集のちらしが完成し、他団体への広報にも活用している。地域の折り紙サークルや絵手紙サークルなどにも声をかけた。教室へ行きづらい児童が、学校とつながれる場所、機会として、リソースルームにおいてイベントを開催する予定。 ・ 委員 社会福祉協議会で、八松小リソースルームの見守りについて、関わっていくことが可決された。12 月から、月 2 回できるように進める予定。地域として全面協力したい。 ・ 委員 ちらしについて、市民センターでは配架はしないが、掲示している。 ・ 委員 連絡があった方には、まず、コーディネーターが会って、その後、学校と会うようにしてもらう。 （2） 委員の学校評価項目の最終確認 ・ 副会長 授業については、学校の取組の方向性を評価してほしい。見通しがもてる授業、考える価値のある発問について、学年で協議し、問いの質を高

	めることに重点を置いている。6年間の研究の積み重ねが結果に表れてきている。
・会長	地域協働はどのようなものがあるか。
・副会長	リソースルームの運営、プールの水質管理でご協力いただいている。家庭科の針やミシンのお手伝い。地域学習のご協力。2年生が北町町内会の山車をみせてもらう学習。3学期に3年生が八松ウォークラリー、4年生は、市民センターより郷土の出張授業を行う予定。子どもたちに、地域を大切にしてほしい。チーム八松にご協力をいただき側溝清掃を実施予定。
・会長	安全・安心は、防災や登下校のことについて評価するのか。
・副会長	他にも、子どもが困った時に安心して相談できるかなどだ。
・委員	地域のニーズに対して学校が協働することはあるのか。
・委員	市民センターで中学校保護者を対象としたお弁当講座について八松小学校栄養教諭が講師として開催予定。地域学習を通して、地域に愛着をもってもらふまちづくりにつながる。
(3) いじめ防止に関する意見交換	
・副会長	いじめを生まない風土を育てたい。学校と家庭教育で子どもに規範意識を育てたい。子どもの SNS の扱い方を家庭で確認する必要がある。子どもの様子で気になることとしては、注意されたことに対して、自分のために言ってもらったと受け止められず、相手に暴言を言うなどの態度が見られる。
・委員	ひと昔前は、中学生がそのようなパターンが多かった。現在、中学生は減ってきている。低年齢化しているのか。
・委員	保育園、幼稚園時代の保護者へのアプローチが大切。保護者の口調がそのまま子どもに影響して言動として出る。地域として、そのような保護者のフォローや支援が必要ではないか。
・委員	保護者が子どもをしかる時に、どうしていけないかを伝えず、感情をぶつけてしまう場面が見受けられる。保護者の心に余裕がないから、家庭で子どもは話を聞いてもらえていないのではないか。
・委員	子どもは、集団になると気が強くなる。なぜやってはいけないか伝えてしかる。親に報告し、親子で見守る、伝えることが大切だ。
・委員	嫌なことがあるとすぐに、「しね、うざい」という言葉を発する。イライラすると言葉が乱れる傾向がある。嫌な雰囲気にならないように、言葉の使い方について、気を付けている。
・委員	子ども同士の言葉遣いについて、子どもが強い言葉に違和感をもたない。自分の子どもには注意できるが、他人の子にまでは難しい。
・委員	「自分が言われて嫌かどうか。人が嫌だということはやらない。」という声かけをしている。
・委員	SNSでのいじめの扱いの難しさ。証拠が消される。
・副会長	12月に5・6年生を対象に人権教育の授業を予定している。 「SNSでのトラブルから自分も相手も守る」というテーマ。
・委員	中学も警察の方を講師に、各学年で実施。他人ごとになりがちで、巻き込まれてから自分ごとになる。
・委員	子ども同士のやりとりに、どこまで保護者や学校が入っていくか難しい。
	以 上

次回開催予定 2026年2月5日(木) 午前10時～

場 所 藤沢市立八松小学校 相談室